

佐屋小学校老朽化対策基本構想 【概要版】

1. 背景・目的

愛西市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、将来を見通した学校統廃合等の具体的施策を示すことを目的として令和6年3月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」を策定しました。この計画の具体的施策として、佐屋小学校は老朽化対策を実施することとなりました。

本基本構想は施設の老朽化状況やこれからの学校施設に必要な機能整理を行い、老朽化対策の基本的な方向性を示すことを目的とします。

2. 佐屋小学校の概要

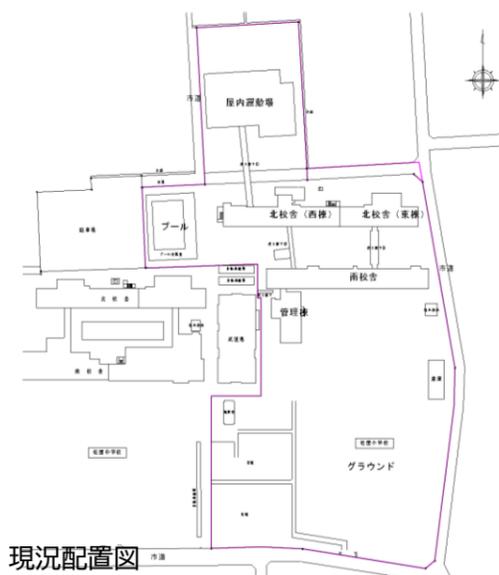
敷地概要

所在地	愛西市須依町東田面 17 番地
敷地面積	23,581 m ²
施設内容	建物敷地 14,183 m ² 、運動場用地 9,398 m ²
延床面積	校舎 7,033 m ² 、屋内運動場 1,198 m ²

児童数・学級数の推移

年度	H20	H25	H30	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
児童数	871	671	615	562	577	592	547	544	536	534	521	500
学級数 (通常学級)	25	21	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
学級数 (支援学級)	3	2	6	6	7	8						

既存施設概要



主な建物一覧

棟名	建築年	面積
南校舎	S40 (1965年)	2,532 m ²
北校舎・西棟	S48 (1973年)	2,050 m ²
北校舎・東棟	S53 (1978年)	1,498 m ²
管理棟	S57 (1882年)	322 m ²
体育館	S55 (1980年)	1,198 m ²



現況写真

3. 建築コンセプト

建築コンセプト

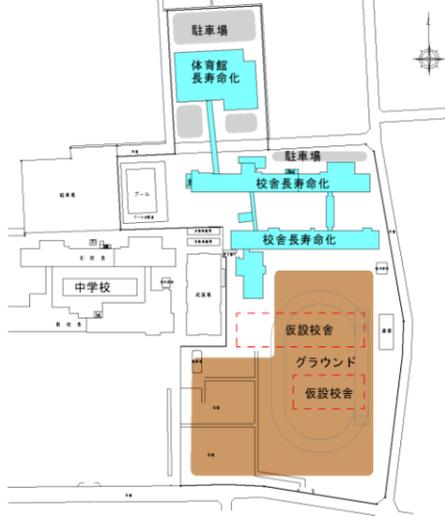
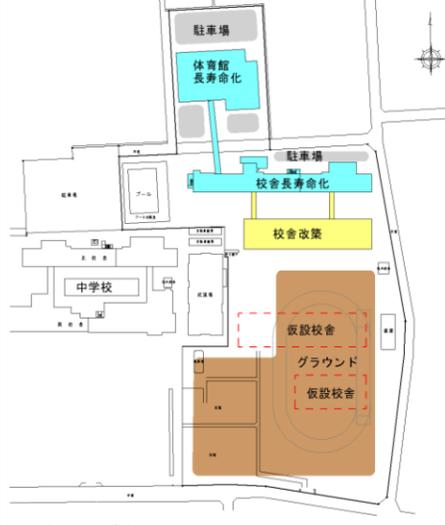
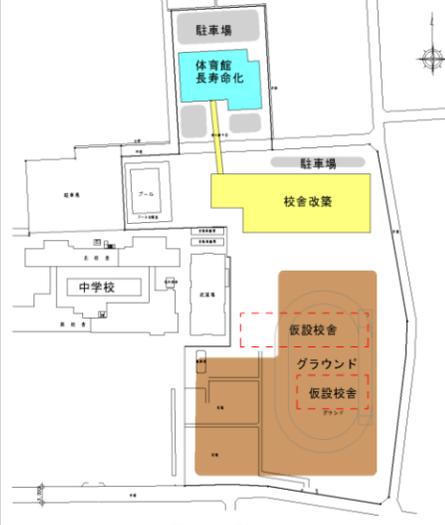
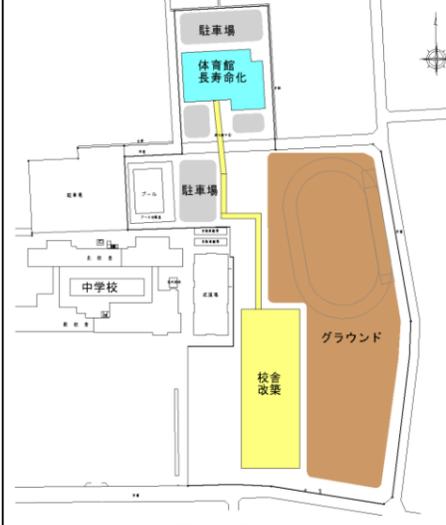
学校施設として
みんなのウェルビーイングを大切にする安心・安全な学校
 地域の学校として
学校と地域の絆を深める、みんなが行きたくなる学校

5つの方向性と具体的方策例

学び	ゆとりあるスペースの確保と多様な教育的ニーズに対応した居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 教育に対応する教室の整備 ・ 十分な収納スペースの確保 ・ 様々な特性の子ども達に対応する柔軟性のある教室 ・ 不登校児童の支援やクールダウン等、選択肢のある居場所づくり 等
生活	快適な室内環境と絆を育む交流空間づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然採光・通風の確保や木のぬくもりを感じる内装 ・ 空調設備の整備やトイレ・手洗いの充実、各学年の更衣室 ・ 学年で集まれるスペースや異学年交流を促す広い図書室 ・ 遊具の充実した広い校庭、校庭に出やすいまとまった昇降口 ・ 教職員のパフォーマンスを高める執務環境・リフレッシュ空間 等
共創	災害時の連携につながる地域と学校の接点づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民と交流が図れる多目的ホール ・ 保護者への引き渡しがスムーズに行える動線計画と待機スペース ・ 避難所利用するエリアを中心とした地域開放の計画 ・ 放課後や長期休暇中の子ども達の居場所づくり 等
安全	日常から災害時まで安心・安全に寄与する機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化対策と維持管理しやすい施設づくり ・ 防犯カメラやフェンスの設置等の防犯対策 ・ だれでもトイレやエレベータ、スロープの整備等のバリアフリー化 ・ 地盤沈下や浸水など地域の特性にあった災害対策 等
環境	緑豊かな環境の継承と災害時の避難所機能に資する環境対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理しやすい植栽選定 ・ 太陽光発電等、災害時にも機能する省エネ設備の導入 等

4. 改築・長寿命化改修の比較

佐屋小学校は棟ごとの築年数が異なるため、以下のパターンで改築・長寿命化改修の比較を行います。なお、改築の建物配置は一例であり、詳細は基本計画で検討します

		【A案】全校舎長寿命化	【B案】南校舎のみ改築、他長寿命化	【C案】体育館のみ長寿命化、他改築 (仮設校舎あり)	【D案】体育館のみ長寿命化、他改築 (仮設校舎なし)	【E案】全校舎改築（仮設校舎なし）
配置 イメージ						
			※改築の建物配置は一例です	※改築の建物配置は一例です	※改築の建物配置は一例です	※改築の建物配置は一例です
新しい 教育 環境	学習	新しい教育に適した広さ・配置にできない	校舎の過半が新しい教育に適した広さ・配置にできない 体育館と校舎を近くに配置可能	新しい教育に適した広さ・配置にできる 体育館と校舎を近くに配置可能	新しい教育に適した広さ・配置にできる 体育館と校舎の距離が遠くなる	新しい教育に適した広さ・配置にできる 体育館と校舎を近くに配置可能
	生活	内装・設備改修により環境改善は可能 動線の分かりにくさは改善できない	内装・設備改修により環境改善は可能 動線の分かりにくさは改善できない	健やかな生活環境を計画できる	健やかな生活環境を計画できる	健やかな生活環境を計画できる
	共創	地域との関係性は既存と変わらない	地域との関係性は既存と変わらない	地域との関係性は既存と変わらない	校舎と他公共施設との距離が近くなる	校舎と他公共施設との距離が近くなる
	安全	大々的な補強・補修が必要 全体のバリアフリー化が困難 浸水対策が困難 杭が支持地盤に到達していないため不同沈下が進行する恐れがある	大々的な補強・補修が必要 体育館のバリアフリー化は課題 北校舎は浸水対策困難 既存建物は不同沈下が進行する恐れがある	必要な耐震・防災性能を確保できる 体育館のバリアフリー化は課題 浸水を考慮した床レベル設定ができる 既存建物は不同沈下が進行する恐れがある	必要な耐震・防災性能を確保できる 体育館のバリアフリー化は課題 浸水を考慮した床レベル設定ができる 既存建物は不同沈下が進行する可能性がある	必要な耐震・防災性能を確保できる 校舎全体のバリアフリー化可能 浸水を考慮した床レベル設定ができる
環境	断熱、設備改修により性能の向上は可能	断熱、設備改修により性能の向上は可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	
建設・改修 コスト 【比率】	長寿命化改修費用、仮設校舎費用 ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり 【1.00】	改築費用（南校舎） 長寿命化費用（北校舎、体育館） 仮設校舎費用 解体工事費用（南校舎） ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり 【1.23】	改築費用（校舎）、 長寿命化改修費用（体育館） 仮設校舎費用、解体工事費用（校舎） ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり 【1.50】	改築費用（校舎）、 長寿命化改修費用（体育館） 解体工事費用（校舎） ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり 【1.18】	改築費用、解体工事費用 【1.23】	
概算 工期	合計 40 ヶ月 ※改修中は体育館使用不可 ※工事中のグラウンド使用範囲制限有 ※新校舎使用開始 28 ヶ月以降	合計 52 ヶ月 ※改修中は体育館使用不可 ※工事中のグラウンド使用範囲制限有 ※新校舎使用開始 40 ヶ月	合計 54 ヶ月 ※改修中は体育館使用不可 ※工事中のグラウンド使用範囲制限有 ※新校舎使用開始 42 ヶ月	合計 41 ヶ月 ※改修中は体育館使用不可 ※工事中のグラウンド使用範囲制限有 ※新校舎使用開始 25 ヶ月	合計 41 ヶ月 ※体育館使用制限なし ※工事中のグラウンド使用範囲制限有 ※新校舎使用開始 25 ヶ月	